



2024年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年11月6日

上場会社名 株式会社イーエムネットジャパン 上場取引所 東
コード番号 7036 URL https://emnet.co.jp
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 臣一郎
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役CFO兼管理統括部部長 (氏名) 村井 仁 TEL 03 (6279) 4111
配当支払開始予定日 -
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第3四半期の業績 (2024年1月1日～2024年9月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第3四半期	971	△4.8	10	△80.8	12	△80.8	4	△89.7
2023年12月期第3四半期	1,020	△7.1	56	△61.9	66	△58.4	41	△61.6

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第3四半期	1.11	1.10
2023年12月期第3四半期	10.90	10.78

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第3四半期	2,553	1,342	52.6
2023年12月期	3,013	1,451	48.0

(参考) 自己資本 2024年12月期第3四半期 1,342百万円 2023年12月期 1,444百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	-	17.00	-	15.00	32.00
2024年12月期	-	17.00	-	-	-
2024年12月期 (予想)	-	-	-	-	-

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
2. 2024年12月期の期末配当予想については未定であります。

3. 2024年12月期の業績予想 (2024年1月1日～2024年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,406	2.7	120	7.5	121	1.1	83	14.1	21.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料5ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年12月期3Q	3,909,000株	2023年12月期	3,885,000株
② 期末自己株式数	2024年12月期3Q	46,254株	2023年12月期	46,219株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年12月期3Q	3,858,351株	2023年12月期3Q	3,828,863株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、2024年12月期の業績予想に記載の「1株当たり当期純利益」の計算の基礎となる期中平均株式数につきましては、当期第3四半期までの新株予約権の行使による株式増加数を反映させて算出しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第3四半期累計期間	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(四半期貸借対照表に関する注記)	5
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	5
(セグメント情報等の注記)	5
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	5
(重要な後発事象)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、引き続き雇用・所得環境の改善やインバウンド需要による好調な企業業績等の景気浮揚効果がみられつつも、一方で物価高による内需低迷を背景とした実質賃金の伸び率もマイナスが続く等、景気回復には足踏みもみられます。またウクライナや中東地域の悪化等の地政学的リスクは高止まりによる海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクや資源価格の高騰による消費者物価上昇の影響により、依然として先行きは不透明な状況にあります。

このような状況下において、当社が属するインターネット広告市場につきましては、コネクテッドTVの利用拡大に伴う動画広告需要の高まりや、デジタルプロモーション市場の拡大などが成長に寄与し、2023年には3兆3,330億円（前年比107.8%）となり、引き続き成長を続けております（広告費データは、株式会社電通「2023年 日本の広告費」より引用）。

このような環境のもと、当社のインターネット広告事業では、引き続き積極的な人材採用と人材教育に注力することで販売体制の強化を図り、既存のクライアント企業の売上拡大、及び新規クライアント企業の獲得に注力して参りました。しかし、当社の主なクライアントであります中小企業の景況感は、2024年7-9月期の全産業の業況判断DI（「好転」－「悪化」）が▲17.1と前期(4-6月期)と比べ1.4ポイント低下しており依然としてマイナスで推移しており、依然として景況感については不透明な状況にあり、中小企業の広告需要については不透明な状況が継続しております（独立行政法人 中小企業基盤整備機構「第176回 中小企業景況調査」より引用）。一方で、ソフトバンク株式会社との資本業務提携契約にもとづく協業については、当第3四半期累計期間は引き続き協業体制の強化等により前第3四半期累計期間と比較して協業による売上は拡大しております。

以上の結果、当第3四半期累計期間の業績は、営業収益971,749千円（前年同期比4.8%減）、営業利益10,958千円（前年同期比80.8%減）、経常利益12,838千円（前年同期比80.8%減）、四半期純利益4,286千円（前年同期比89.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末における資産の残高は、2,553,808千円となり、前事業年度末に比べ459,797千円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が446,130千円減少したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債の残高は、1,211,358千円となり、前事業年度末に比べ350,459千円減少いたしました。これは主に、賞与引当金が25,473千円増加した一方で、買掛金が280,654千円、未払法人税等が46,987千円、未払消費税等が45,393千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産の残高は、1,342,450千円となり、前事業年度末に比べ109,338千円減少いたしました。これは主に、資本金及び資本剰余金がそれぞれ9,035千円増加した一方で、配当金の支払いにより123,248千円減少したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期（2024年12月期）の通期の業績予想につきましては、2024年2月7日公表の「2023年12月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）」から変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年12月31日)	当第3四半期会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,416,013	969,882
受取手形及び売掛金	1,158,099	897,796
その他	136,403	174,711
貸倒引当金	△415	△321
流動資産合計	2,710,101	2,042,069
固定資産		
有形固定資産	11,547	11,522
無形固定資産	4,145	2,760
投資その他の資産		
投資有価証券	78,447	277,834
繰延税金資産	58,083	52,949
その他	158,392	173,784
貸倒引当金	△7,113	△7,113
投資その他の資産合計	287,810	497,455
固定資産合計	303,504	511,738
資産合計	3,013,606	2,553,808
負債の部		
流動負債		
買掛金	984,406	703,752
未払金	122,126	131,388
未払法人税等	46,987	—
未払消費税等	45,393	—
賞与引当金	—	25,473
契約負債	138,714	132,845
その他	79,638	41,309
流動負債合計	1,417,267	1,034,769
固定負債		
リース債務	403	—
退職給付引当金	67,340	85,418
役員退職慰労引当金	64,041	78,324
資産除去債務	12,764	12,845
固定負債合計	144,550	176,588
負債合計	1,561,817	1,211,358
純資産の部		
株主資本		
資本金	319,256	328,292
資本剰余金	119,356	128,392
利益剰余金	1,084,955	965,993
自己株式	△73,556	△73,591
株主資本合計	1,450,012	1,349,086
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△4,476	△6,636
評価・換算差額等	△4,476	△6,636
新株予約権	6,252	—
純資産合計	1,451,788	1,342,450
負債純資産合計	3,013,606	2,553,808

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
営業収益	1,020,513	971,749
営業費用	963,576	960,790
営業利益	56,936	10,958
営業外収益		
受取利息	12	85
為替差益	5,629	—
契約負債取崩益	853	1,196
保険戻戻金	2,235	336
その他	1,802	757
営業外収益合計	10,533	2,375
営業外費用		
支払利息	22	12
支払手数料	175	—
為替差損	—	433
雑損失	536	49
営業外費用合計	734	495
経常利益	66,734	12,838
特別利益		
新株予約権戻入益	—	2,658
特別利益合計	—	2,658
特別損失		
ゴルフ会員権評価損	6,040	—
特別損失合計	6,040	—
税引前四半期純利益	60,694	15,497
法人税等	18,961	11,210
四半期純利益	41,733	4,286

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期貸借対照表に関する注記)

当座貸越契約

当社においては、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行と当座貸越契約を締結しております。

当第3四半期会計期間末における当座貸越契約に係る借入未実行残高は次のとおりであります。

	前事業年度 (2023年12月31日)	当第3四半期会計期間 (2024年9月30日)
当座貸越限度額	500,000千円	500,000千円
借入実行残高	—	—
差引額	500,000	500,000

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
減価償却費	8,116千円	5,396千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間（自 2023年1月1日 至 2023年9月30日）

当社は、インターネット広告事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第3四半期累計期間（自 2024年1月1日 至 2024年9月30日）

当社は、インターネット広告事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。